

電気自動車運転のアドバイス

従来の車両とは異なり、電気自動車が走行を続けると電力消費率は低下します。高速道路での運転または平均車速の高い運転を続けた場合、走行できる距離が短くなる可能性があります。駆動用電池の残量が低下しているときは、表示された走行可能距離に頼りすぎたり、高速道路を運転したりしないでください。適度な車速で走行すると、電力消費を抑えることができます。経済的な運転のためには、次のことを心がけてください。

シフトポジションの操作

- 信号待ちや渋滞のときなどは、シフトポジションを D にしましょう。
- 駐車するときは、シフトポジションを P にしましょう。
- シフトポジションを N にしても、電費向上の効果はありません。N では、駆動用電池は充電されないため、エアコンなどを使用していると駆動用電池の残量が低下します。

エコドライブモード／レンジモードの利用

エコドライブモードを使用すると、通常にくらべてアクセルペダルの踏み込みに対するトルクの発生がゆるやかになります。また、エアコン（暖房／冷房）の作動を抑え、電費の向上につながります。

レンジモードを使用すると、電費を向上させる走行制御（車速制限／最大駆動力制限／前後駆動力配分最適化など）にかわり、エアコン（暖房／冷房）を OFF にします。レンジモードでクルーズコントロールまたはレーダークルーズコントロールが作動したときは、車速の上限が 100km/h になるため、設定速度にならない場合があります。レンジモードでは航続可能距離の最大化につながります。^{*1}

渋滞

加速・減速のくり返しや、長い信号待ちは電費を悪化させます。お出かけ前に交通情報を確認するなどして、なるべく渋滞を回避するようにしましょう。また渋滞の際は、ブレーキペダルをゆるめて微前進し、アクセルペダルをあまり踏まないようにしましょう。余分な電気消費を抑えることができます。

減速時のブレーキ操作

減速時は、早めに、ゆるやかなブレーキ操作を行いましょう。減速時に発生する電気エネルギーをより多く回収することができます。

高速道路での運転

速度を抑え、一定速度で走行しましょう。また、料金所手前では早めにアクセルをもどし、ゆるやかなブレーキ操作を行いましょう。減速時に発生する電気エネルギーをより多く回収することができます。

*1: M モード 選択時は、レンジモードを使用しても、車速制限／最大駆動力制限機能は無効化されます。

エアコンの ON/OFF

- 必要時以外はエアコンスイッチを OFF にしましょう。余分な電力消費を抑えることができます。
夏季：外気温が高いときは、内気循環モードに設定しましょう。エアコンへの負荷が減り、電費向上につながります。
冬季：過剰または不要な暖房は避けましょう。ヒーターを使いすぎないことも電費向上に効果的です。
- レクサスクライメイトコンシェルジュを使用すると、空調が自動的に快適な状態に制御され、余分な電力消費を抑えることができます。

タイヤ空気圧の点検

タイヤ空気圧はこまめに点検しましょう。タイヤ空気圧が適切でないと、電費悪化につながります。

また、冬用タイヤは転がり抵抗が大きいため、乾燥した路面では電力消費量が大きくなります。季節、道路状況に応じて適切なタイミングでタイヤを交換しましょう。

荷物

重い荷物が積まれていると、電費が悪化します。不要な荷物は、積んだままにせずに降ろしましょう。